



堤上野線の現況と
今後の事業計画について

中村 武彦 議員

問 都市計画道路堤上野線については、市内を取り巻く循環道路として計画されたものであると思うが、現在における工事の進捗状況や、国道208号線までの延伸など今後の事業計画について、伺いたい。

答 堤上野線は有明海沿岸道路の大川中央インターと向島地区を結ぶ幹線道路として、ハローワーク近くの県道若津港線の旧小保踏切跡の交差点から花宗川を越えて県道水田大川線までの区間で、現在、県により整備が進められている。

進捗状況としては、小保、向島地区の用地交渉を精力的に進めながら、同時に花宗川橋梁の詳細設計や地質調査のためのボーリングを行っており、平成23年度から橋梁の下部工事に着手する予定である。

堤上野線は、大川市の市街地を取り巻く西側の環状線として位置付けており、県道水田大川線から国道208号線までの区間においても、今後段階的に整備を進めたいと考えている。

しかしながら、当面は現在事業区間である、県道水田大川線までの開通が最優先であり、この完成に全力を傾けていきたい。



小中学校の教室に
エアコン設備を

古賀 龍彦 議員

問 夏季の小中学校の教育環境について、どう考えているか。

答 子どもの健康安全を中心とし、施設設備の充実、安全管理、衛生管理、教育環境の整備に努めており、教室の温度環境を快適な環境に繋がるように対応を進めていきたい。

問 教室の温度測定調査及び児童生徒の健康状況などの聞き取り調査は行なったか。

答 温度測定調査データを一校から頂いている。今後も教育環境調査については適時行い、学校環境の把握と改善に努めたい。

問 福岡県や全国の小・中学校の普通教室に冷房エアコン等の空調設備がどの程度設置されているか。

答 東京都で6割、京都府で5割、大阪府で2割、福岡県で1割程度、普通教室に空調設備が設置されている。

問 全国の自治体の中には、PFIという手法でエアコン設置事業を行なっているところがあるが、このPFI手法とは何か。

答 民間業者の能力、資金、経営、技術等のノウハウを活用し、民間事業者が工事の設計、施工、維持管理を一括して行なわせる公共事業の手法の一つである。



行政区長制度について

岡 秀昭 議員

問 平成17年に行政区の統合が行われたが、その際、旧町内単位における「町内会長」の制度が残され現在に至る地区もまだかなりある。まちづくりのしくみについて、市長の考えを伺いたい。

答 本市の第5次長期総合計画においては、大川を支えるしくみづくりの柱として、協働によるまちづくりの推進を掲げており、これを具体化する仕組みの理念として「市域内分権」という考えを持っている。

市域内分権とは、それぞれの地域に財源と権限を委譲し、地域の特性に応じて、地域の創意工夫により魅力ある地域づくり、まちづくりを地域でいそしんでいただくことである。

この協働によるまちづくりを推進していくためには、将来的な地域コミュニティ活動や地域での連携の在り方、現状、課題などについて、地域の実情に詳しい区長さん、あるいは公民館長さん方のご意見を伺い、まずは現状分析を的確に行うことが必要であり、今後入念にご意見を伺いながら議論を深めていくことが大切と考えている。

なお、行政区長制度の廃止というようなことは考えていない。